

# 2017年度(平成29年度)事業報告書

## 2018年度(平成30年度)事業計画書(案)

2018年(平成30年)5月27日

埼玉県ふじみ野市上福岡5丁目4番25号  
埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
ふじみの国際交流センター

代表者氏名 石井ナナエ

電話番号 049-256-4290



事業報告一覧.....	2	5 子どもの健全育成	
総括報告.....	3	5-1 国際子どもクラブ .....	11
1 外国人籍等市民の人権擁護と自立支援		6 外国人への緊急時対策 (2017年度は事業なし)	12
1-1 生活相談.....	3	7 まちづくりの推進	
1-2 シェルター.....	5	7-1 行政との協働事業.....	13
1-3 DV講習会・生活相談勉強会.....	5	7-2 行政関係会議・関係事業.....	14
1-4 パソコン教室.....	6	8 NPO への助言・援助	
2 国際理解教育と国際交流の推進		8-1 NGO・NPO・協力ネットワーク .....	14
2-1 国際交流と国際理解講座.....	6	9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業	
2-2 大学との協働.....	8	9-1 機関誌「ハローフレンズ」 .....	15
2-3 語学教室.....	8	9-2 ホームページ・Facebook.....	16
3 多言語情報の収集と提供		9-3 FICEC 利用状況 .....	16
3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」...9		9-4 理事会・スタッフ会議.....	16
3-2 翻訳・通訳.....	10	9-5 その他.....	18
4 外国籍児童並びに成人への日本語指導			
4-1 日本語教室.....	10		

事業計画(案) .....	19
---------------	----

事業計画一覧

## キーワード

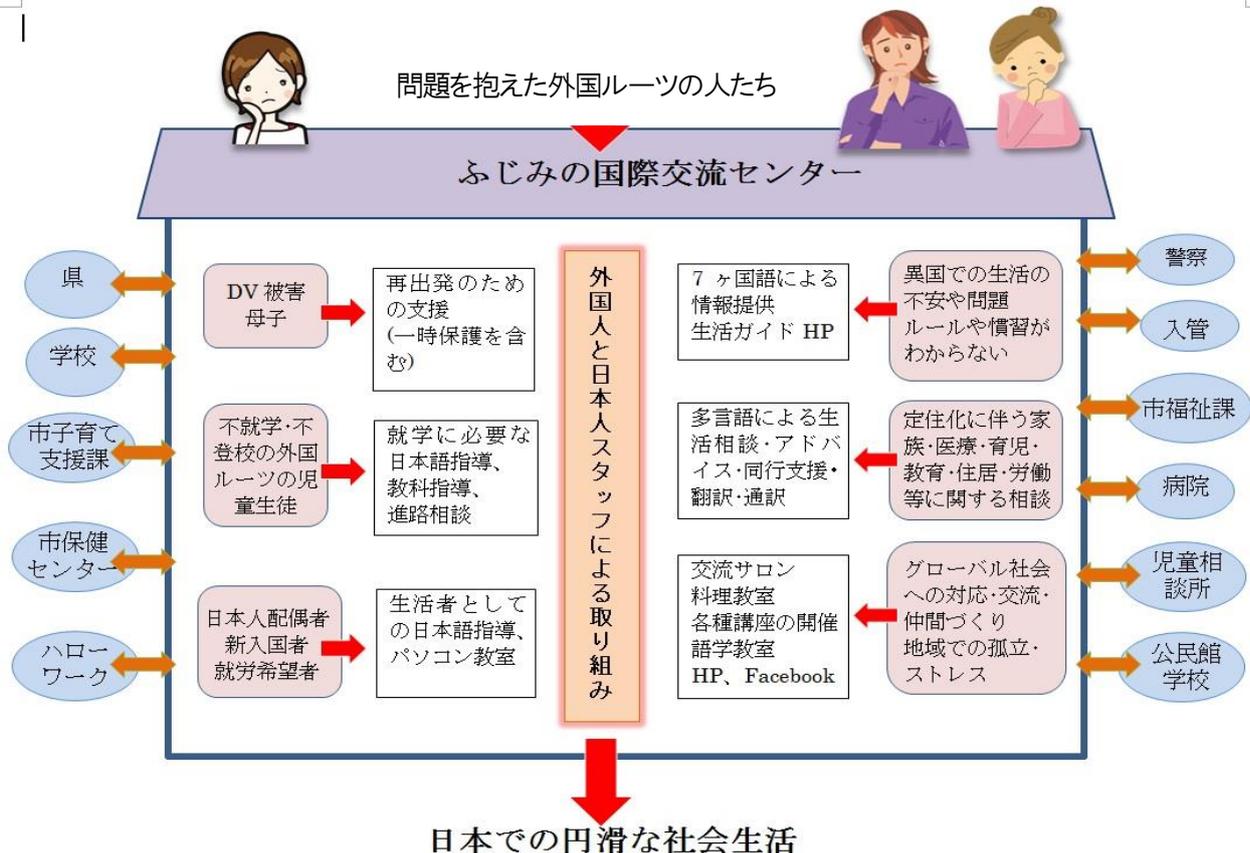
# 多文化が未来を拓く

## ミッション

ふじみの国際交流センターは富士見市、ふじみ野市、三芳町ならびに周辺の地域に居住する外国ルーツの人たちの自立支援と、一般市民・団体との交流・協力活動を推進し、豊かな多文化共生社会の実現を目的とする。

## ビジョン

子どもの教育	日本に暮らす外国ルーツの子ども達が、等しく教育を受け、基本的な知識を身に付け、夢を持って育ちゆくよう支援する
多言語情報	情報やコミュニケーション手段が不足していることで不利な状態に置かれている人に多言語や、やさしい日本語で情報を提供し、安心、安全な基本的生活を送るための支援をする
日本語支援	日本で生活していくために必要な日本語の学習を支援する 一人ひとりの状況や希望に合った学習内容を考え、より生活の幅が広がるよう支援する
生活相談	相談者の直面している困難に対応し、生活状態の向上につながるよう支援する
国際交流	日本人と外国人が互いの独自性に誇りを持ち、自由に考えを表現できる交流の場を作る
社会的役割	日本人と外国人が共に学びあい、育ちあう場所となる 外国人を取り巻く現状を伝え、多文化がもたらす豊かさと課題を社会に発信する



## 2017年度(平成29年度) 事業報告

事業名	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者	支出額(千円)
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10名	589件	2,563
	シェルター	通年	FICEC	10名	0名	
	DV講習会・生活相談勉強会	6回	埼玉県庁ほか	2名	300名	
	パソコン教室	第2・4木曜日 22回	FICEC	2名	延127名	
国際理解教育と国際交流の推進	国際理解講座・イベント	32回	大学、社協 他	5名	約6000名	589
	国際交流サロン	4回	FICEC 他	5名	約200名	
	大学との協働	1大学	大学・県NPO活動推進課	3名	延45名	
	語学教室	50回	FICEC	2名	延130名	
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	6回 2100部	FICEC	13名	12万人	1,008
	生活ガイドHP維持管理	必要に応じて	FICEC	8名		
	翻訳	70件	FICEC、県内	20名	埼玉県民	
	出版、編集	必要に応じて	FICEC他	6名	埼玉県民	
外国籍児童並びに成人への日本語指導	日本語教室	木曜日を中心に通年	FICEC	11名	延164名	100
子どもの健全育成	国際子どもクラブ	土曜日を中心に通年	FICEC	延639名	延994名	156
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	30名	埼玉県民	0
NPOへの助言・援助	NGO・NPO・協力ネットワーク	14回	県内	2名	埼玉県民	0
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	機関誌の発行	年4回 2000部	FICEC	11名		5,436
	ホームページ・Facebook	随時	FICEC	3名		

## 《総括報告》

北朝鮮やトランプ大統領の動きに戦々恐々の日々を過ごす中で、多文化共生をテーマに活動している FICEC の存在は何なのかを考えさせられる一年だった。

1997年に設立したころは、年間450万人だった来日外国人は、20年経った2017年には6.4倍の2,869万人に増えている。在留外国人の数も2017年6月現在で247万1458人となり、全国では50人に1人が、埼玉県では44人に1人が外国人という時代になった。

制度面を見ても6月に、①高度外国人材の更なる呼び込み ②小売業・製造業の企業内従業員の受入れの促進 ③2020年に向けて即戦力となる外国人建設就労者の活用が閣議決定された。④オンライン化も含め、在留資格審査の大幅な円滑化と迅速化を実現することも決まった。9月からは介護の業務に従事する外国人の受入れも始まっている。在留外国人が急増することは十分予想される。

川口市の芝園団地では、団地内の住人の半数近くが外国人で、地域内でさまざまな確執が起きているという。外国人が住民の半数になってから意志の疎通を図るのは難しい。周りの手本になれるように人口の2.2%の今から、多文化共生を実現している事実を証明していくのが FICEC の役割なのではないかと気がついた。

事業数を考えると今年は比較的平穏で余裕のある一年だった。空いた時間を活用してプロジェクト毎の話し合いや研修が進められ、スタッフ一人一人がエンパワーメントしてきた様子が、目で見えて感じられるようになった。新年度はこれをチームパワーメントに繋げていけたらと望んでいる。

経済基盤の軟弱な FICEC ではあるが、東入間地区遊技業防犯防災協会様、邱亜蘭様、立麻医院様、一食運動の皆様をはじめ、スタッフや大勢の会員の皆様からの多大なご寄附をいただいた。また、フードバンク埼玉様をはじめ、島田様、バプテスト教会様をはじめ大勢の市民の皆様から食料品、手作り品、生活用品、衣類などを寄附していただき、それらをもとに活動資金に活用させていただいている。皆様の善意に、心から感謝申し上げます。

今年も本当にありがとうございました。

(文責：石井ナナエ)

---

## 1 外国籍等市民の人権擁護と自立支援

### ■1-1 生活相談

大半がパートタイムやアルバイト、契約社員、派遣社員に限られてはいるが、外国人の労働力を必要とする中小零細企業が増えている。

東上線沿線の各駅前には、毎朝夕、送迎用のワゴン車やバスが次々に集まり、大勢の外国人労働者を吸い込んで吐き出していく。工場自体は郊外の交通の悪いところにあっても、最寄りの駅まで送迎してくれるし、時給860円から1,100円の仕事が見つかるようになった。まれには工場の隣が保育室という企業もある。収入があると家庭内のいざこざや心配事がなくなるようで、今年は生活相談が激減した。

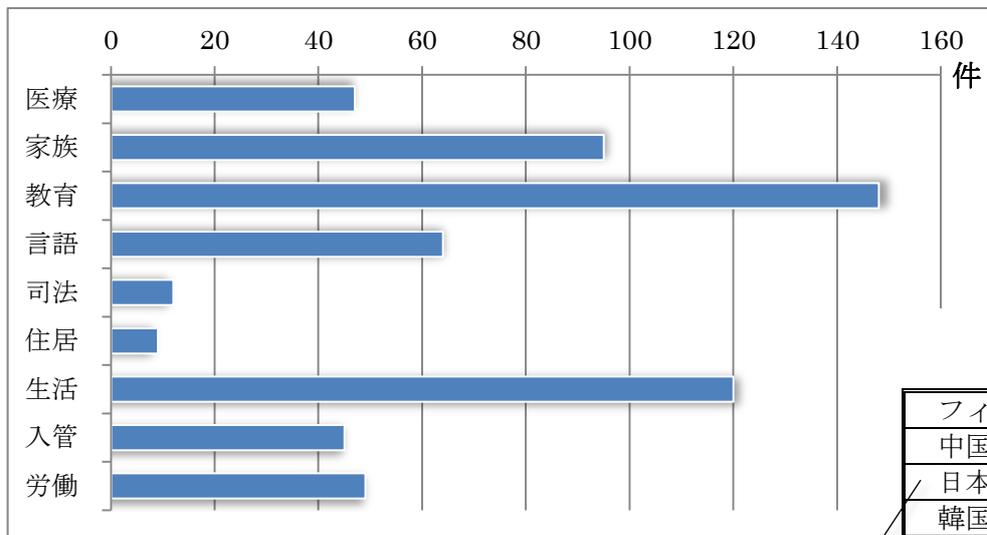
また、6月には就労目的の「偽装申請」が年内19,600件を超えたため難民申請制度が厳しくなり、「特定活動ビザ」を持ち日本語を勉強に来ていた難民申請中の人々がピタッと来なくなった。日本の法律に則って活動している FICEC としては、法を犯してまで彼らを守ることは出来ない。屈強そうな彼らはどこへ行ったのか。法と人情の間で揺れている。

今年特に心を痛めたのは、子供のいじめに対する相談だった。母親が外国人であることで、同級生から毎日いじめを受け、家に帰ると自分の鉛筆をぼきぼき折るようになってしまった小学生や、ついに精神病院に入院した中学生の相談もあった。「フィリピン人の母親はしつけが出来ていないから」と保育園の先生から一人だけ特別にいじめられ、夢遊病者のように夜中にむっくり起きあがり「こわいこわい」と泣き叫ぶ2才児の相談もあり、心をえぐられた。いつになったら違いを認められる社会になるのだろうか。

### 2017年度(平成29年度)中に受けた相談内容の内訳

医療	医療費、病院へ同行(入院手続き等)、うつ、アルコール依存	47
家族	離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども	95
教育	日本語支援、学習支援、入園・入学手続き、学校との連絡	148
言語	日本語指導、翻訳、通訳、代筆	64
司法	税金、犯罪、裁判所・法務局への同行・支援、子どもの国籍	12
住居	住まい探し、引越しの手伝い	9
生活	生活費、生活保護、友達・近隣関係、国民年金・国民健康保険手続き	120
入管	ビザ、在留カード申請・更新、帰化、帰国、保証人	45
労働	求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害、労災保険	49
合計		589件

※継続的に対応している日本語支援や学習支援は1人につき、1回/月として集計



#### 相談者の国籍 (ルーツを含む)

フィリピン	162
中国	157
日本	77
韓国	50
ネパール	39
ブラジル	21
カメルーン	16
台湾	13
ナイジェリア	11
ペルー	6
パキスタン	5
ベトナム	5
その他	27
計	589件

#### 相談者の居住地

ふじみ野市	321
富士見市	86
川越市	50
新座市	25
坂戸市	17
三芳町	11
所沢市	10
さいたま市	8
その他	61
計	589件

外国人担当行政職員、  
外国人関係施設担当者、  
日本人配偶者、  
日本人の知り合いなど

他県内 52 市町  
県外 9 都県

他 16 カ国

☆朝日こどもの貧困助成による「外国人生活相談入門書」の作成と配布

昨年末に助成していただき、今年 5 月に本が完成し、県内の外国人担当課、教育委員会、福祉課、DV 担当課、保健センター、児童相談所、公民館、日本語教室、派出所等に 1,000 冊郵送した。

スタッフみんなの意見を集約してできたお陰様で「とてもわかりやすい」と好評で追加依頼が多く、7 月に 300 冊増刷した。以来、「本の内容について詳しく知りたい」という行政窓口からの質問や、「外国人生活相談窓口を自分たちの町にも作りたい」と冊子を使っの講演依頼がたくさん来た。あちこちに FICEC のような窓口が出来たらうれしい。



■1-2-1 シェルター

入居者年間 0 人。開設以来 21 年間で初めての 0 人だった。16 組に 1 組が国際結婚だった 12 年前に比べ、その数が急激に減り、もはや 30 組を下回るようになったためなのか。しかし、日本人 DV 被害者を収容する県の施設も入居者が激減しているところを見ると、他に理由があるようだ。

雇用が拡大し経済的に楽になり、夫婦間のいざこざがなくなったのか、DV を振るう夫が減ったのか、被害母子もシェルターなどに入らないで、せつせとアパート転宅できるようになったのか、周りに支援してくれる人が多く見つかるようになったのか。いずれにしても嬉しい傾向である。

しかし FICEC としては、入居者 0 でも家賃や水道光熱費、3 本のシェルター専用携帯電話の基本料金を払わなければならない。県がせめてシェルターの家賃だけでも全額負担してくれると有難いんだけど、FICEC にとってはつらい、苦しい現象である。

■1-2-2 継続支援

シェルターを退去した DV 被害母子の支援を、埼玉県男女課から助成をいただいて継続的に実施している。対象家庭は 18 家庭。支援件数は今年度は 76 件あった。

アパートに転宅して仕事を始めてはいるが、日本語の読み書きができない人が多く、会社や保育園とのトラブルや隣近所との関わり、子育ての問題など、あらゆる事で連絡が入り、相談に乗っている。埼玉県の支援の目的は「一日も早く就労し、生活保護から抜け出し、自立した家庭を営んで欲しい」というのだが、なかなかそうはいかない。働くことの大切さ、働くことの喜び、働く義務などを、相談の合間に話して聞かせている。

継続支援の対象	家庭訪問	同行支援	面談による相談	電話での相談	就労支援
18 人	19 件	18 件	8 件	27 件	4 件

■1-3 DV 講習会・生活相談勉強会

民間団体や企業主催の研修・学習会の中にも FICEC の活動に必要なさまざまなテーマの学習会が多く開かれている。特に感動した研修内容をスタッフ会議で皆に報告してくれる若い人達の、その姿が頼もしくうれしい。

4/26	福祉学習会 全 6 回	ふじみ野市役所
5/16	DV 新任職員研修	With You さいたま
7/28	西部地区人権教育実践報告会	所沢市民文化センター ミューズ
12/1	東京弁護士会	弁護士会館

2/14	外国人学習会	北浦和地方庁舎
3/22	NPO スタッフ研修会	中央労働金庫本社

### ■1-4 パソコン教室

例年通りの外国人枠・スタッフ・日本人枠の3ブロック体制で行った。受講者のレベルもかなり向上し、出席率もかなり良い状態です。平成30年度も外国人の新規受講者を増やして、より幅広い方々のパソコン修得に役立つようにサポートしていきます。外国籍の方、スタッフのみなさん、ぜひチャレンジしてください。みなさまのレベルアップのお手伝いをさせていただきます。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外国人	4	2	8	5	7	7	5	3	3	6	7	5	62人
日本人	8	2	10	6	5	5	4	6	3	5	5	6	65人
合計	12	4	18	11	12	12	9	9	6	11	12	11	127人

## 2 国際理解教育と国際交流の推進

### ■2-1 国際交流と国際理解講座

#### ①国際交流

FICEC を立ちあげた原点は外国人達が皆で楽しく、話せる拠点を作りたかったからです。平成29年度には外国人お茶会で「なぜ外国人は病院に行きたくないのですか？」というテーマで集まり話し合いました。また、バザーパーティ等を行いました。

5/14	バザー オープニングパーティ	FICEC
6/25	心を開いて「日本との学校の違い」	FICEC
11/26	外国人お茶会 病院について	FICEC
12/1	バザー パーティ	FICEC

反省点は、外国人が中心となってアイデアを出し合い、色々な交流会ができれば良いと思います。



## ②国際理解講座

32回の国際理解講座を開催した。

国際理解講座のテーマを分析すると、⑦外国人の人権や日本で暮らす外国人の実情、④生きがいやボランティア、⑨地域の外国人とどう交流したらよいか、国際交流のすすめ、④学問としての多文化共生、④DV 関連の話に大別される。対象は行政職員、大学生、教職員、一般市民、高齢者の5タイプがあった。⑦のテーマでは FICEC の台湾と韓国の理事2人も講師として大活躍



してくれました。これからも FICEC の活動を可視化して、どんどん社会に提言していきたい。

5/1	外国人事情	埼玉県立大学
5/25	いきいき大学「ボランティア講座」	国立女性教育会館
5/27	日本語ネット総会	北浦和カルタスホール
6/1	DV 新任職員研修	With You さいたま
6/9	騎西特別学校職員研修	加須市
6/14	いきいき大学「ボランティア講座」	ウェスタ川越
7/14	所沢家庭教育「ボランティア講座」	所沢市 吾妻公民館
7/17	埼玉県立大学研修	FICEC
7/18	いきいき大学「ボランティア講座」	和光市サンアゼリア
7/19	東京家政大学子ども支援学科「子どもの支援について」	板橋キャンパス
8/21	市町村国際施策担当職員研修	北浦和合同庁舎
9/7	パートナーシップさいたま研修会	大宮ソニック
10/14	羽生市人権教育	ワークヒルズ羽生
10/30	外国人の人権	所沢市役所
10/31	ルーテル学院「在住外国人の実状」	ルーテル学院
11/7	志木市人権講座	志木ふれあいプラザ
11/21	文京学院教育社会学科「在住外国人の実状」	文京学院大学
12/6	外国人の人権	北朝霞公民館
12/18	多文化共生における外国人の役割	自治体国際化協会
12/20	外国人の話を聞こう	埼玉県立坂戸高校
1/11	三芳町 地域デビューはじめの一步	三芳町体育館
1/28	八潮市 日本語ボランティア養成講座	八潮市
2/1	DV と外国人支援	東京外国語大学
2/4	八潮市日本語ボランティア養成講座	八潮市
2/6	多文化共生社会の実現	熊谷市
2/7	ボランティアコーディネーター養成講座	千代田区
2/13	大里地区教頭協議会「外国ルーツの子どもの実状」	深谷市
2/21	日本で暮らす外国人	富士見市南畑公民館
2/24	ふじみ野市人権講座	ふじみ野市役所
3/24	地域に住んでいる外国人との交流	蕨市立中央公民館
3/26	地域の未来を考える政策プロジェクト会議	富士見市サンライトホール

## ☆かめのり賞の寄附による交流室の活用

財団会長のご尊父のお名前をそのまま感謝の気持ちに表したとおっしゃる「かめのり賞」をかめのり財団昨年未にいただき、事務所の隣の2階に談話室を開設してもうすぐ1年になる。

外国の人達がいつも自由に集まって楽しく談話してもらいたいと願って造ったのだが、正直まだあまり活用されていない。階段が急なこと、水道の設備がないこと、トイレは事務所まで降りてこないとだめな事など、いくつかの理由はあるようだが、かめのり様には申し訳ないと思っている。

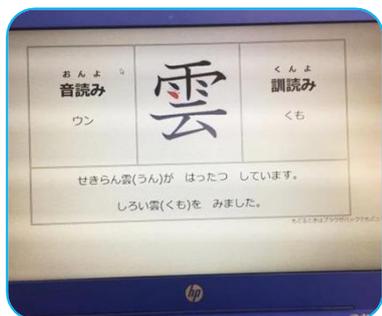
談話室の隣の部屋はバザーの常設場として大勢の皆様からいただいた日用品、雑貨や衣類などを展示し、いつでも安価に手に入れることができるようになっているが、談話室の活用法は来年は腰を入れて考え直してみたいと思っている。



## ■2-2 大学との協働

FICEC 日本語教室と日本工業大学共同による「外国人向け日本語ソフトの開発」

日本工業大学は創立51周年を迎える外国籍学生も多い工業大学である。情報工学科ソフトウェアデザインコースの専修コースとして3年生の課題研究が続けられてきた。本企画も5年目、開発内容は外国人向け日本語ソフトの開発と言うことで、企画内容の変更はなく毎年新3年生が先輩の研究を引き継ぎ、内容を改善することで研究は続けられている。



今期も5月と12月、日本工業大学の学生がセンターを訪れ、FICEC側から、4月と1月に宮代町の大学を訪問し意見交換を行った。ソフト内容は4点、企画は変更ないが、学生は毎年変わるので、その都度、開発にかかわる内容の精度に改良は加えられ新しい発見がみられる。ただ新3年生の研究開発の段階で一部内容の改善もあり、新規に組み替える部分もあった。そのうち本年は、「簡単に覚えられる漢字の書き方」の

ソフト1「教室にあるものを調べてみよう！」

初来日した子が小学校で見聞きするさまざまなケースを紹介し、1日でも早く学校や友達と溶け込めるよう手助けするソフト

ソフト2「簡単に覚えられる漢字の書き方」

漢字の習得はなかなか進まないもの。進捗を進めるために漢字を生き物のように静から動へとビジュアルに訴えて理解を進めさせるよう工夫したもの

ソフト3「スマートフォン対応の漢字練習帳」

漢字練習の大人バージョン。時間が有ればどこでも学べるようスマートフォンを使った漢字学習ソフトとなっている

ソフト4「クイズで学べる ふじみ野市ゴミの出し方に挑戦」

3年生までのものが完成ということで、結果を期待されることになった。街中にあふれるごみの問題は、外国人にとって最も厄介な生活行動である。中でもゴミと資源の分別は頭が痛い問題といわれる。そこでこれをクイズ形式で楽しく身につけられるよう開発中で日本語教室でも大いに話題になりそうである。

## ■2-3 語学教室

- ・英語会話教室（毎週月曜日 12:30~13:30）ロシア人の先生が教えてくれます。毎週和やかに開かれています。

- ・中国語教室（毎週木曜日 9：30～11：30）南京出身の中国人の先生がレッスンを行います。（生徒募集中）

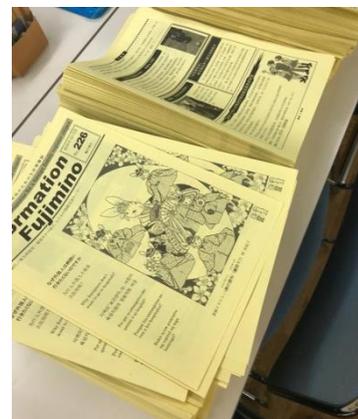
### 3 多言語情報の収集と提供

#### ■3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

隔月刊と言うこととなり、リアルタイムで紹介する2市1町の生活情報量が少なくなってきた。今後は FICEC の話題も広く収集して読者の関心を引きだめるよう工夫していきたい。

富士見市では「広報 ふじみ」に数年前から本誌の紹介をいただいているが、隔月刊に合わせて、本年も引き続き掲載いただいた。庁内においても議会を始め、関係部署に配布されている。

不特定多数の市民については、ホームページ（<http://www/ficec/jp/foreign/>）でも「外国語のページ」として掲載している。今後、在留者数が増えているベトナム語、ネパール語等の翻訳も検討していきたい。



- 翻訳言語〔中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、日本語〕
- 発行回数〔隔月刊 年6回〕、発行部数〔2100部〕
- 配布場所〔国際関係機関や2市1町の公的機関、日本語版のみ FICEC 全会員に郵送している。各日本語教室にも受講生への配布をお願いしている。〕
- 作業の流れ〔編集会議⇒企画決定⇒原稿作成⇒翻訳依頼⇒印刷原稿作成⇒印刷⇒配布〕

221号 4,5月号	<b>仕事に関するいろいろ</b> ・ FICEC の役立ついろいろ ・ FICEC のバザー開催 ・ 日本茶摘み体験
222号 6,7月号	<b>梅雨から夏へ 「新三大食中毒」に気をつけて</b> ・ 外国人の80%以上が「埼玉は住みやすい」と答えています ・ 日本文化を味わってください ・ 梅雨が終われば、スポーツの夏 ガーデンビーチが待っています ・ FICEC に多目的ルームができました ・ 教育漢字1006字がインターネットで勉強できます
223号 8,9月号	<b>交流会「心を開いて」第1回「育児を語る」</b> ・ バトテニス体験教室開催!! ・ ふじみ野市イベントニュース ・ FICEC のバザー常設会場を作りました ・ 富士見市国際フォーラム
224号 10,11月号	<b>「難民申請」を考えている人に 自分の将来をじっくり考えましょう</b> ・ DV 被害者のお力になれるよう活動しています ・ 外国人 인권相談ダイヤル ・ 平仮名練習帳ができました ・ 富士見市国際フォーラム案内
225号 12,1月号	<b>地域の「保健センター」は子育て支援の頼もしい味方です</b> ・ FICEC 年末のバザー開催 ・ 日本初のミニ鉄道に乗ってみませんか ・ ワンポイントミニ知識「干支」
226号 2,3月号	<b>なぜ外国人は病院へ行きたくないのですか</b> ・ 小・中学校入学説明会の開催 ・ FICEC のバザー ・ 公民館活動で友人づくり ・ 高校・大学入学費用が心配の方はご相談を

### ■3-2 翻訳・通訳

#### ①翻訳

##### ◆個人からの翻訳

トータル 140 件。昨年度は 90 件だったので、前年度比 1.5 倍に増えた。翻訳内容は出生証明書・婚姻証明書・戸籍謄本・配偶者呼び寄せの為の手紙・病院の領収書（外国）・国籍放棄の証明書・住民票・婚姻受理証明書・在職証明書・源泉徴収・確定申告書・その他多岐にわたる。

翻訳内容〈英語→日本語〉・〈日本語→英語〉

・〈フランス語→日本語〉・〈日本語→ポルトガル語〉・〈ポルトガル語→日本語〉

##### ◆企業からの翻訳

・J:com より「埼玉県伝統・工芸」パンフレット翻訳〔英語・中国語・タイ語〕

#### ②通訳



国籍別依頼件数			
フィリピン	95	スリランカ	2
中国	8	カメルーン	2
パキスタン	6	イラン	2
ネパール	5	コンゴ	2
バングラデシュ	4	日本	9
ガーナ	3	不明	2

##### ◆埼玉県国際交流協会「同行通訳システムの助成」

毎月 10 件は来ると思える同行通訳依頼。その 100% 近くの依頼先が通訳者に対する謝金規定がない。個人で通訳を依頼してくる人も、経済的に問題を抱える人が多いせいか「通訳料が必要」と話すと、依頼を断念する人が多い。

神奈川県には「MIC かながわ」という行政主導でできた同行通訳の組織がある。埼玉県にも、そのような組織を作りたいというのが長年の希望だった。幸いなことに今年は国際交流協会から 20 万円の助成金をいただけることになった。これで全てが解決するわけではないが、とりあえずは今まで無償で通訳に行ってきた外国人通訳者に謝金を払うことができた。

これからこの事業が拡大するように、一般財団法人自治総合センター(宝くじ組合)や日本財団などあらゆる機会を利用して同行通訳システムの構築を目指して、申請をし続けたいと思っている。

依頼件数 129 件 関係機関 47 カ所

## 4 外国籍児童並びに成人への日本語指導

### ■ 4-1 日本語教室

#### ①学習概要と学習者

学習曜日・時間	毎週木曜日 10:00~12:00 (祝日、お盆 8/13~15、年末年始 12/28~1/5 は休み)
開講回数	50 回
学習者数	延べ 294 人 平均 5.9 人 最高 14 人 最低 1 人 参加国 19 カ国



本年度は、1 回平均 5.9 人という数字となっている。

本年の傾向は昨年比、またボランティアの数も安定傾向にある。

主な国別学習者(延べ人数)		主な国別出席回数(延べ回数)	
フィリピン	32人	ベトナム Mさん	60回
ベトナム	31人	韓国 Yさん	53回
ネパール	24人	フィリピン Bさん	48回
韓国	22人	ネパール Sさん	44回
中国	12人	中国 Yさん	22回



## ② 日本文化を味わってもらう事業

4/27	端午の節句
7/6	七夕と納涼ソーメン
12/22	蕎麦打ち
1/11	書き初めと鏡開き(お汁粉)
3/1	桃の節句

日本文化を伝えるのも言語習得の一助となる、そんな目論見で実施している試みも例年通り賑やかに実施できた。日本文化ともいえる伝統行事を取り入れ少しでも日本の心を理解してもらえたらと実施しているのが「日本の文化を味わってもらう事業」である。桃の節句、端午の節句などでは華やかな人形の飾りつけ、体験など例年通り会員の協力で実施できたのもありがたい。

## ③ 二市一町日本語教室ボランティアネットワーク(東上線沿線日本語教室連絡会)

開催日	幹事日本語クラス	開催場所
7/12	A I S	朝霞市中央公民館
10/8	FICEC 日本語教室	ふじみの国際交流センター
1/28	三芳日本語教室藤久保	三芳町藤久保公民館

東上線沿線日本語教室の連帯を図るべく、近隣のボランティア日本語教室団体と手を携え情報交換をしようということで始まった連絡会。各教室が多忙という点を考え10月以降、

半年毎に実施することになっていたが、実施は平成30年度から、ということで、今期は開催日は従来通りとなった。今後推進する柱として各日本語教室が安定して運営できるよう固定的な場所の確保を行政にお願いすることをテーマとした。本年は退会する団体もあり、今後の運営を検討するという問題も生じている。

- ・参加団体〔朝霞インターナショナルソサイエティー(A I S)、大井親子日本語教室、新座日本語の会、ふじみの国際交流センター日本語教室、三芳日本語教室藤久保、和光国際交流会〕

## 5 子どもの健全育成

### ■5-1 国際子どもクラブ

#### ① 参加者(平日)

単位 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生徒数	41	27	28	38	20	4	16	24	10	4	3	3	218
指導者	22	17	23	26	17	4	11	16	7	3	3	3	152
計	63	44	51	64	37	8	27	40	17	7	6	6	370

\*小・中学校に転入する前に、数カ月日本語の勉強に来た生徒 6名

\*月3回小学校を早退して、日本語の勉強に来た生徒 1名

\*大学進学のため、授業のない日や放課後勉強に来た高校生 3名

\* 定期試験の勉強のため、試験前に勉強に来た高校生 1名

② 参加者（土曜日のみ） 単位（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
生徒数	79	51	66	93	28	38	52	64	103	66	72	64	776
指導者	49	28	37	58	32	43	49	33	44	32	38	44	487
計	128	79	103	151	60	81	101	97	147	98	110	108	1263



\* 毎回 20 名弱の参加者が定着した。特に小学生の学習者が増えた

\* 5 人の高校進学希望者が、全員志望校に合格した

\* 大学進学希望者が 1 名、志望校に合格した

\* <その他の取り組み>

学校の転入手続き・進路相談・入学試験面接練習・入試願書手続き・小・中・高・大学入学手続・アルバイト支援・学校の諸書類の確認と記入

③ 学習者のルーツ 単位（人）

中国	17	フィリピン	24	ネパール	5
スリランカ	2	コスタリカ	1		

④ 今年度の取り組みに対して

〈良い点〉

- ・ 上級学校に進学希望者が、全員希望の学校に進学する事が出来た
- ・ 参加しているボランティアの皆さんの熱意と力量に、とても助けられた
- ・ 小学校入学前教育、日本語指導、小中高の教科の指導等、受験指導のできる体制が出来ている
- ・ 今年度も、カパティランの給付型奨学金に一人応募できた

〈問題点〉

- ・ 土曜日の登校日（部活、授業等）が増えて、国際子どもクラブに参加出来ない中学生が増えてきた
- ・ 短期間日本語の勉強をただで、学校に転入後国際子どもクラブに通ってこなくなる中学生が複数人いる。必要な支援は何かを考えたい

## 6 外国人への緊急時対策

平成 29 年度、外国人への緊急時対策事業はありません

### ■7-1 行政との協働事業

#### 1) ふじみ野市・富士見市・三芳町

「外国人生活相談窓口業務」を受託（参照 1-1）

「外国籍市民のための生活ガイドホームページ維持管理業務」を受託（参照 3-2）

#### 2) ふじみ野市

- ・生活ガイドブック更新事業（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語）受託
- ・「ごみ分別収集カレンダー」（ベトナム語）翻訳
- ・保健センター「妊娠届書、アンケート」（英語・タガログ語・ベトナム語）翻訳
- ・「アートフェスターふじみ野」協力

10月7日にショッピングモール「ソカ」で行なわれた「第2回アートフェスターふじみ野」に、FICECからはフィリピンの「バンブーダンス」と、韓国の伝統遊び「チェギチャギ」、フィリピンの遊び「ジャックストーン」で参加した。予算がないままの大きいイベント参加は、その分 FICEC に負担になるし、たくさんのボランティアの方の協力が必要となることが課題。



#### 3) 富士見市

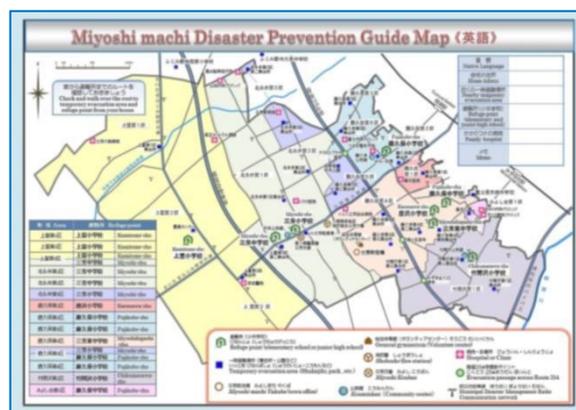


- ・「ごみの出し方」（英語・中国語・タガログ語・やさしい日本語）
- ・「国際交流フォーラム」協力10/7（フィリピンの遊び「ソウカ」、韓国の遊び「チェギチャギ」、外国人の主張）

#### 4) 三芳町

##### ①事業委託

- ・三芳町防災ガイドマップ（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）翻訳
- ・保健センター事業一覧（英語・中国語・韓国語・タガログ語）翻訳
- ・家庭ごみの正しい分け方・出し方（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）翻訳



##### ②子ども大学みよし（FICEC 実行委員として参加）

	・開校期間：6/24～11/18	・参加児童 35 名（4 年生 8 名、5 年生 18 名、6 年生 9 名）
6/24	入学式、講義：ブラックライトパネルシアターでお話づくり（淑徳大学埼玉キャンパス）	
7/15	福祉の仕事体験：施設の見学・お年寄りのサポートの仕事を学ぶ（埼玉ロイヤルケアセンター）	
8/4	ニュースポーツ体験：キンボールを体験しよう（三芳町総合体育館 1 階 アリーナ）	

10/7	芸術文化の三芳町・みんなで演劇を作ろう！（三芳町中央公民館 1階ホール）
11/18	講義：全国の空へはばたく！羽田空港の仕事、修了式
3/6	実行委員会 平成 29 年度振り返り、平成 30 年度企画学習プログラム等

### ③協働のまちづくり

- ・12/15 シニア成人式・まちづくり見本市 参加
- ・1/11 レッツわがまち入門講座Ⅱステップ1「地域デビューの魅力紹介」参加
- ・3/17 協働のまちづくりフェア 2018 展示団体（31 団体）として参加

### 5) その他の行政

- ・埼玉県婦人相談センター「個人情報同意書」他（英語・中国語） 翻訳
- ・川越市「ごみの分け方・出し方」（中国語・ベトナム語）翻訳

## ■7-2 行政関係会議・関係事業

埼玉県・富士見市・ふじみ野市・三芳町など、合計すると十指に余る役を依頼され、スタッフ、理事が分担してその役に当たっている。しかし、まだテーマの中心が「在留外国人」となる審議会はない。学校教育、社会教育、町づくり等、あらゆる分野でテーマに取りあげられ、国民皆で在留外国人について考える必要があると思う。

全 3 回	ふじみ野市地域福祉計画審議会	ふじみ野市役所
全 3 回	ふじみ野市男女共同参画会議	ふじみ野市役所
全 2 回	埼玉県人権推進会議	県民センター
全 3 回	ふじみ野市福祉策定委員会	ふじみ野市役所
全 1 回	埼玉県 DV 対策会議	埼玉会館
全 1 回	夜間中学開設準備会	埼玉県庁
全 1 回	埼玉県DV支援団体交流会	埼玉会館
全 6 回	ふじみ野市社会福祉協議会理事会	ふじみ野市役所
全 6 回	ふじみ野市要保護児童対策会議	ふじみ野市役所
全 6 回	ふじみ野市社会教育委員会議	ふじみ野市役所
全 6 回	ふじみ野市環境会議	ふじみ野市役所、他

## 8 NPO への助言・援助

### ■8-1 NGO・NPO・協力ネットワーク

5/17	さいたま NGO ネット	コムナーレ 9F	総会・定例会
全 9 回	同上	コムナーレ 9F	定例会
6/2	彩の国国際交流・協力ネット	浦和合同庁舎別館 A 会議室	全体会
8/24	さいたま NGO ネット	SIA 国際プラザ研修室	SDG に関する勉強会
11/5	埼玉県国際交流協会	さいたまアリーナ	国際フェア 2018
30/2/4	さいたま NGO ネット	コーププラザ浦和	グローバルセミナー 2018

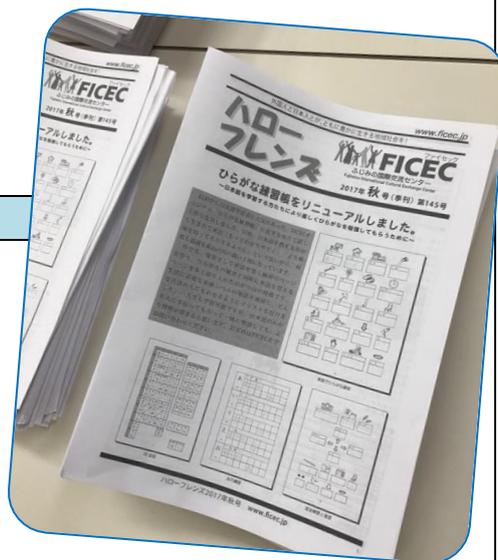
■9-1 機関誌「ハローフレンズ」

2017年春号(第139号)

- ただいまネーミング募集中！！  
～ふじみの国際交流センターに多目的活用室が出来ました。～
- DV 被害者支援の流れ 「引っ越し奮闘記」
- FICEC を卒業した子どもたちの活躍 5  
「光陰矢のごとし、日本に来てもう5年目です」 周文清さん
- スタッフ紹介 ●私のお国自慢
- ふじみの国際交流センターを応援しています
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2
- 取材報告「外国人の駆け込み寺」
- 最近の Facebook から

2017年夏号(第140号)

- 第19回総会が開催されました
- 総会講演会「外国人支援と FICEC の役割」
- ふじみの国際交流センターを応援しています
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2
- FICEC を卒業した子どもたちの活躍 6  
「出逢いに感謝」 チュア アリサ メイさん
- 出版物紹介 「外国人生活相談入門書」を発送しました
- スタッフ紹介 ●私のお国自慢 ●最近の Facebook から



2017年秋号(第141号)

- ひらがな練習帳をリニューアルしました
- FICEC 日本語教室を数字で見る8年間、そこから課題を考える 日本語教室
- FICEC を支えてくれる方たち  
「インフォメーションふじみの」スペイン語翻訳者 ダリオ・カステリャーノさん
- スタッフ紹介 ●私のお国自慢
- この方も FICEC の活動を応援してくださっています
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2
- FICEC を卒業した子どもたちの活躍 7  
今まで支えてくれた人が居るから今の私がいる 中田 佳妍さん
- 最近の Facebook から

2018年冬号(第142号)

- あけましておめでとうございます
- なぜ外国人は病院へ行きたくないのですか～「外国人お茶会」の報告書～
- FICEC を卒業した子どもたちの活躍 8 真庭美奈さん
- スタッフ紹介 ●私のお国自慢 「多様性に富んだチュニジア」
- この方も FICEC の活動を応援してくださっています
- 見送りの三振より空振りの三振 PART2
- FICEC がかわったイベント報告  
国際フォーラム2017」と「アートフェスタふじみ野2017」
- 最近の Facebook から

## ■9-2 ホームページ・Facebook

ホームページは、「インフォメーションふじみの」と「ハローフレンズ」の最新号の PDF の掲載を行っているほか、寄附金募集のバナーを変更するなど、細かい手直しを加えている。Facebook も引き続きセンターの毎日を写真と外国人にも分かりやすい日本語で伝えるほか、利用者に向けてイベントの告知や、休みの日のお知らせなどに利用している。多くの人が閲覧し、コメントなども頂いているのでこれからも継続していきたい。



## ■9-3 FICEC 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開館日数	26	24	30	27	25	27	30	26	26	25	27	28	321	
来訪者	外国人	173	140	163	226	239	150	270	200	170	200	214	204	2349
	日本人	109	112	121	103	108	69	107	95	123	81	82	77	1187
	小計	282	252	284	329	347	219	377	295	293	281	296	281	3536
スタッフ	外国人	26	24	19	27	25	25	34	30	27	16	23	24	300
	日本人	157	156	170	164	170	151	144	150	150	129	128	137	1806
	小計	183	180	189	191	195	176	178	180	177	145	151	161	2106
合計	465	432	473	520	542	395	555	475	470	426	447	442	5642	

## ■9-4 総会・理事会・スタッフ会議

4/22	2016年度第4回理事会	平成28年度決算と平成29年度予算案・平成28年事業報告、平成29年事業計画案・理事辞退の要望と新理事補充・多目的ルームの有効的活用について・NPOとしての役割「政策提言」について	8人
6/11	総会	平成28年事業報告、平成29年事業計画案・平成28年度決算、平成29年度予算案	
6/11	2017年度第1回理事会	新旧理事顔合わせ・理事長の選定・副理事長、常務理事選出・平成29年度理事会日程について	10人
8/5	第2回理事会	ふじみの国際交流センター組織・会計決算時期変更について・交流会「ここを開いて」開催趣旨・寄付しやすい方法、システムの検討・事務局スタッフより無給の意向を受けて	9人
12/16	第3回理事会	認定NPO法人の更新と埼玉県指定NPO法人の更新について・給与規定変更の件・FICECのビジョンとミッションの見直し・会計期間変更の提案書について・平成29年度中間決算報告・平成29年度総会の内容	8人
2/10	第4回理事会	定款一部改正・第20回総会の日程と内容について・平成29年度暫定決算に基づく平成30年度(6ヶ月)の予算案・国際子どもクラブ教材費徴収について・ふじみ野市体育協会との「ホームページ業務委託契約」の解除について・コピー機リース契約について・多発する外国ルーツの子どもに対するいじめの事例と対応策	8人

4/25	第1回 スタッフ会議	今年度の抱負・事務費を寄付金とする件・ボランティアネットワーク 会議委員依頼・wifi のパスワードについて・新スタッフ紹介・特技を PRして仕事にする件・黄色いレシート	15人
5/23	第2回 スタッフ会議	寄付金受領報告・バザーと交流会報告・「外国人生活相談入門書」経過 報告・監査報告・総会について・アートフェスティバルについて・西 公民館まつり出店・富士見市生活相談スタッフ補充・HPについて・ 国際交流協会の助成金申請について・「外国人」に対する表記につい て・スタッフ会議の研修会で学びたいこと	15人
6/27	第3回 スタッフ会議	理事会報告・国際交流サロン「日本の学校と外国の学校の違い」・ 「立正佼成会一食運動」から寄附金報告・「社会貢献支援団」視察・イ エローレシートキャンペーン報告・ふじみ野市「夏休みこどもの寺子 屋事業」参加打診・建物更新料について・「外国人生活相談入門書」配 布・総会ふりかえり・上福岡七夕まつり出店・「国際交流基金地球市民 賞」応募・西公民館まつり・富士見市国際交流フォーラム	11人
7/11	第4回 スタッフ会議	七夕まつりお手伝い募集・西公民館まつり出店・富士見市国際フォー ラム・ふじみ野市アートフェスタ・バドテニス大会・	13人
7/25	第5回 スタッフ会議	夏休み中の子どもの学習状況・富士見市出張生活相談状況・富士見市 国際フォーラム・日本語テキスト作成・寄付を増やす方法	7人
8/29	第6回 スタッフ会議	日本語テキストの作成・ふじみ野市親子スポーツ大会・FICEC 活動時 間外の施設の使用について・コピー機の利用について	12人
9/12	第7回 スタッフ会議	各事業報告・福島高専から研修生受入・アートフェスタ、国際交流フ ォーラム準備について	13人
9/26	第8回 スタッフ会議	2市1町国際化担当者会議報告・各事業報告・翻訳者とチェック体制 について・福島高専研修生受入・「インフォ」に新言語を加える件・イ エローレシート参加の件	14人
10/10	第9回 スタッフ会議	アートフェスタ、国際フォーラム、研修生受け入れ反省会・教育委員 会とのかかわりについて	12人
10/24	第10回 スタッフ会議	第2回交流会「なぜ病院に行きたくないのですか」準備・印刷料金見 直し・富士見市国際フォーラム感想・「街の広場と順天堂大学との共同 プログラム」参加報告・平和祈念フェス講演報告	11人
11/14	第11回 スタッフ会議	FICEC のビジョンとミッション・各プロジェクト報告・中間決算報告	11人
12/12	第12回 スタッフ会議	第2回交流会報告・バザー・イエローレシートキャンペーン参加報告・ FICEC のビジョンとミッション再考について・来年度総会について	9人
12/26	第13回 スタッフ会議	FICEC の管理費について・日本語学習者と子どもから利用料を徴収す る件・子どもクラブについて	9人
1/16	第14回 スタッフ会議	ふじみ野市スポーツ大会参加準備・総会準備について・食品の提供に ついて・会計期間の変更・ハローフレンズ発行時期変更・新年会計画	14人
2/20	第15回 スタッフ会議	理事会報告・コピー機新規契約・総会について	14人
3/27	第16回 スタッフ会議	FICEC の今後の活動方針	11人

■9-5 その他

5/22	善意の箱贈呈式	ショウザン大毅
6/12	国際交流協会助成金申請説明会	国際交流協会
8/3	国際交流協会助成金申請プレゼン	国際交流協会
8/5	七夕まつり出店	上福岡広場
9/10	西公民館まつり	西公民館
9/22	二市一町国際課担当者会議	ふじみ野市役所
10/15	一食運動贈呈式	川越教会
10/22	外国人健康相談準備会	進学スクール
12/6	ネット21運動研修会	労福協会館
1/12	かめのり賞事業報告会	アルカディア市ヶ谷
1/13	労福協手伝い	ウエスタ川越
1/28	ふじみの市長新年会	フクトピア
2/1	新年会	わん



## 2018 年度(平成 30 年度) 事業計画案

平成 29 年度が 300 万円の赤字経営だったのを踏まえて、30 年度は事業のあり方を再検討しなければならない。当番謝金・日本語教室・こどもクラブ・多言語情報誌の発行・事務所維持費等、大半の事業費をシェルター収入に頼っている。しかしシェルター収入とは言っても、DV 被害者が入居した時だけ大人 1 人 1 日いくら、同伴の乳幼児の場合はいくら、小学生はいくらというように出来高払い(?)なので、昨年のようにシェルター入居者がゼロの場合、収入もゼロになってしまう。その上アパート代、水道光熱費、携帯電話の基本料金などの維持費は払わなければならない、その分がマイナスになってしまう。

果たしてこの先 DV 被害者の入居は見込めるのか、それとも減少の一途をたどるのか。DV 特別法による補助金は何年先まで続くのか、政府の動きにもアンテナを張り巡らさなければならない。

また 1 つの事業だけに収入を頼っている FICEC のあり方を考えなければならない。

在留外国人の担当省庁がなく、補助金や助成金がない現実の中で、市民として NPO としての責任や役割をどう社会に認めてもらえば良いのか。どうすれば活動を持続できるか、様々な面から外国人支援のあり方を考えていかなければならない。

(文責：石井ナナエ)

	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10 名	250 件
	シェルター	通年	FICEC	10 名	延 50 名
	DV 講習会・生活相談勉強会	10 回	FICEC、県内	10 名	150 名
	パソコン教室	第 2・4 木曜日 24 回	FICEC	2 名	延 75 名
国際理解と国際交流の推進	国際理解講座	30 回	大学・市役所ほか	12 名	4,000 名
	国際交流サロン	5 回	FICEC	6 名	500 名
	大学との協働	1 大学	FICEC、県内	2 名	50 名
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	6 回 3,000 部	FICEC	13 名	5 万人
	生活ガイド HP 維持管理	3 回	FICEC	8 名	45 万人
	翻訳	随時	FICEC	15 名	埼玉県民
	出版、編集	随時	FICEC	10 名	埼玉県民
外国人児童及び成人への日本語学習支援	日本語教室	木曜日	FICEC	12 名	延 150 名
子どもの健全育成	国際子どもクラブ	土曜日、平日 4 回	FICEC	15 名	延 600 名
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	20 名	埼玉県民
NPO への助言・援助	NGO・NPO・協力ネットワーク	15 回	県内	2 名	埼玉県民
その他	機関誌の発行	年 4 回	FICEC	10 名	3,000 部
	ホームページ Facebook	随時	FICEC	8 名	

## ■生活相談

在留外国人が急増し、入管法もめまぐるしく変わり、相談の内容も年々複雑、多岐化している。FICECのスタッフ誰もが、その日の来訪者の相談に対し、正確で適切な最新のアドバイスができることが求められている。そこで月2回開かれているスタッフ会議の一部を利用して、外国人生活相談 Q&A タイムを設けようと考えている。



第1回は、お金がなく在留資格もない妊婦の出産費用について。第2回目は、親の呼び寄せ・子どもの呼び寄せ。3回目以降は、留学生・研修生の在留資格の変更、特定活動ビザと特別在留ビザ、外国人同士の日本国内での結婚と離婚などなど。勉強しなければならない問題が怒濤のように押しかけている。先日の新聞に「人生100年時代。80からの手習いは常識」という記事が載っていた。一人では息切れしそうだが、スタッフ皆で工夫し合いながら、しなやかに粘り強く学び合い、相談に乗っていききたい。

## ■シェルター

入居者の有無にかかわらず、いつでも受け入れられるように整理整頓し、備品等の補充をしておきたい。

## ■国際理解講座

あらゆる角度から見たり聞いたりして外国人の実情を社会に提言するために、本年は外国人スタッフの出張をPRしていきたい。その為に、レジメのつくり方、パワーポイントのつくり方、話し方、入管法の勉強を徐々に始めていきたい。

## ■生活情報誌「インフォメーションふじみの」

- ①隔月刊で発行のため企画に腐心する。今後既刊の内容を洗い直し、話題となった、あるいは良かったと思われるものを視野に入れながら企画立案を図る。
- ②できる限り読者の声を取り入れ、生活に密着した企画内容を検討する。
- ③芸術性が高いと評価をいただいているオリジナルの表紙デザインは引き続きお願いしたい。
- ④編集方針は変わらないが、特に気をつけたいのがFICECの存在(活動内容)ではないかと思う。インターネットのアクセスを考えると、何を期待してHPを開くのか、読者のニーズを知ることを積極的に検討したい。FICECの新しく目指すものが浮かび上がることを期待したい。



## ■日本語教室

- ①こここのところ新しい日本語ボランティアの参加が多くなっている。ボランティアの実力もさることながら、教える側、教わる側共に学び合う仲間であることを認識する意識を持つことを考えていきたい。

②日本工業大学の日本語教材の開発も引き続き実施される。とくに完成に近い「漢字のおぼえかた」利用方法を拡大したい。自習による日本語学習、自宅での学習ソフト等に利用することを視野に入れ、東上線沿線日本語教室の協力も頂き学習効果をあげていければと考える。問題は機器の準備をいかにするかにある。

③平成 30 年度も日本文化の体験イベントを企画する。内容的に新鮮味を感じられるものも含めて 4~5 回は実施できないか。ときには親睦あるいは FICEC とのかかわりを深める意味を含めて、学習者側からの企画も考察したい。学習者の参加を呼び掛け、母国のイベントを紹介していただき FICEC 内で盛り上げられないか試行したい。日本語教室時間延長も視野に入れながら実施。

④可能な限り今年から課外授業ができないかと思う。勉強だけではなく日本人と外に出て触れ合うことで日本語に慣れるようにという企画もあってよいのではないかと。出来れば予算化もしたいが・・・



### ■国際子どもクラブ

義務教育年齢で日本に来日しても、数カ月間（4 ヶ月～5 ヶ月）学校に転入せず、日本での生活を楽しんでいる生徒が毎年何組かいる。

学校に転入後は、国際子どもクラブへの参加は休みがちになる。家庭への指導をどうしたら良いか考えていきたい。

### ■日本工業大学との協働による学習ソフトの開発

本企画は 3 年生の研究課題として開発されており、年が変わるごとに新しい 3 年生が、企画を引き継いで完成を目指すという方式をとっている。企画内容については、より使い勝手のある物を研究したいとの話もあり、年間を通して交流を密にし、作業の進捗に協力したい。

企画内容も当初 5 点あったものが、3 点に絞られてきた。他の 2 点は完成とも見られるが、事業提携を図ってきた当初の人的変化もありトーンダウンのきらいもある。今後スタート時に合意された内容の再確認を図り完成を目指す。

### ■同行通訳

ふじみ野市からの推薦をいただき、4 月に一般財団法人自治体総合センター(宝くじ組合)から「同行通訳システムの構築」事業の助成金をいただけることができた。公共機関・教育関係機関・医療機関はもとより、個人からの依頼でも同行通訳も受けられるように、通訳システムを構築する土台作りをしたいと考えている。目標は神奈川県のミック。県内の関係機関からのアドバイス等を頂きながら、埼玉県内全域への普及を目指したい。

### ■社会貢献表彰

埼玉県国際課と日本財団が推薦して下さったお陰様で、公益財団法人社会貢献支援団体から、社会貢献表彰をいただけることになった。FICEC が継続して活動できるように有益に活用したい。

埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
ふじみの国際交流センター

理事長 石井ナナエ

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-25  
TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291 URL://www.ficec.jp/